

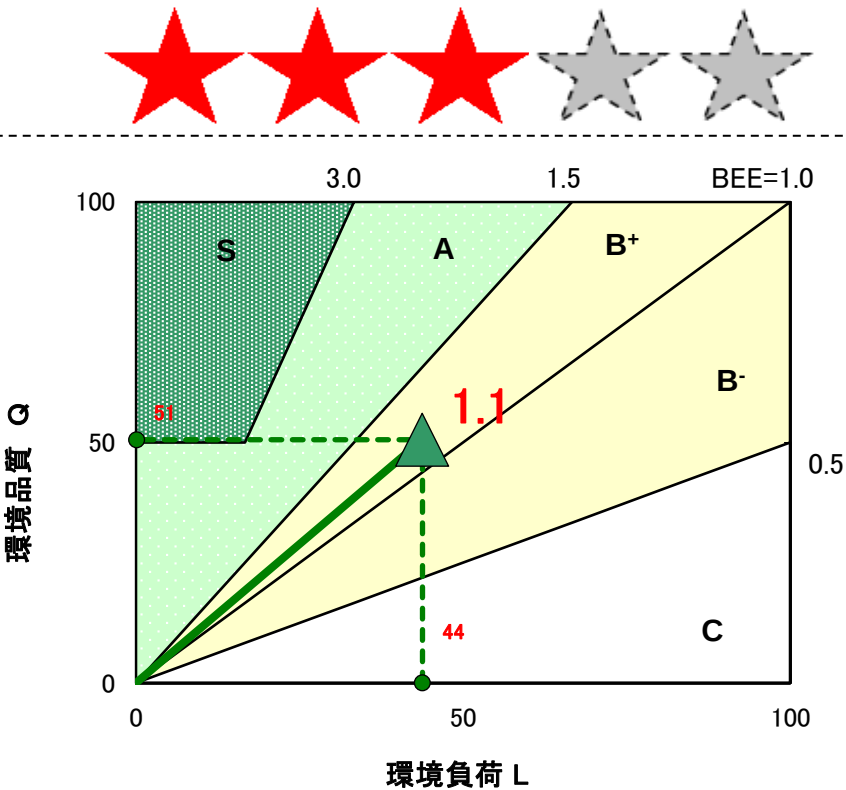
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	(仮称)オーヴィジョン東町 新築工事	階数	外観パース等 外観図の貼り付けは、 【外観図】シートへ貼り付けしてください。	
建設地	熊本県熊本市東区東町3丁目3番51	構造		
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員		
気候区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日		
敷地面積	3,625 m ²	作成者		
建築面積	889 m ²	確認日		
延床面積	8,320 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★★★



BEE = 1.1

BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

☆☆☆☆☆

排出率

100%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



77

	評価点	■ 熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.5	<table><thead><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr></thead><tbody><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></tbody></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	72.5													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	75.0													

※評価点は、100点以上が推奨です。

Page : 1/6

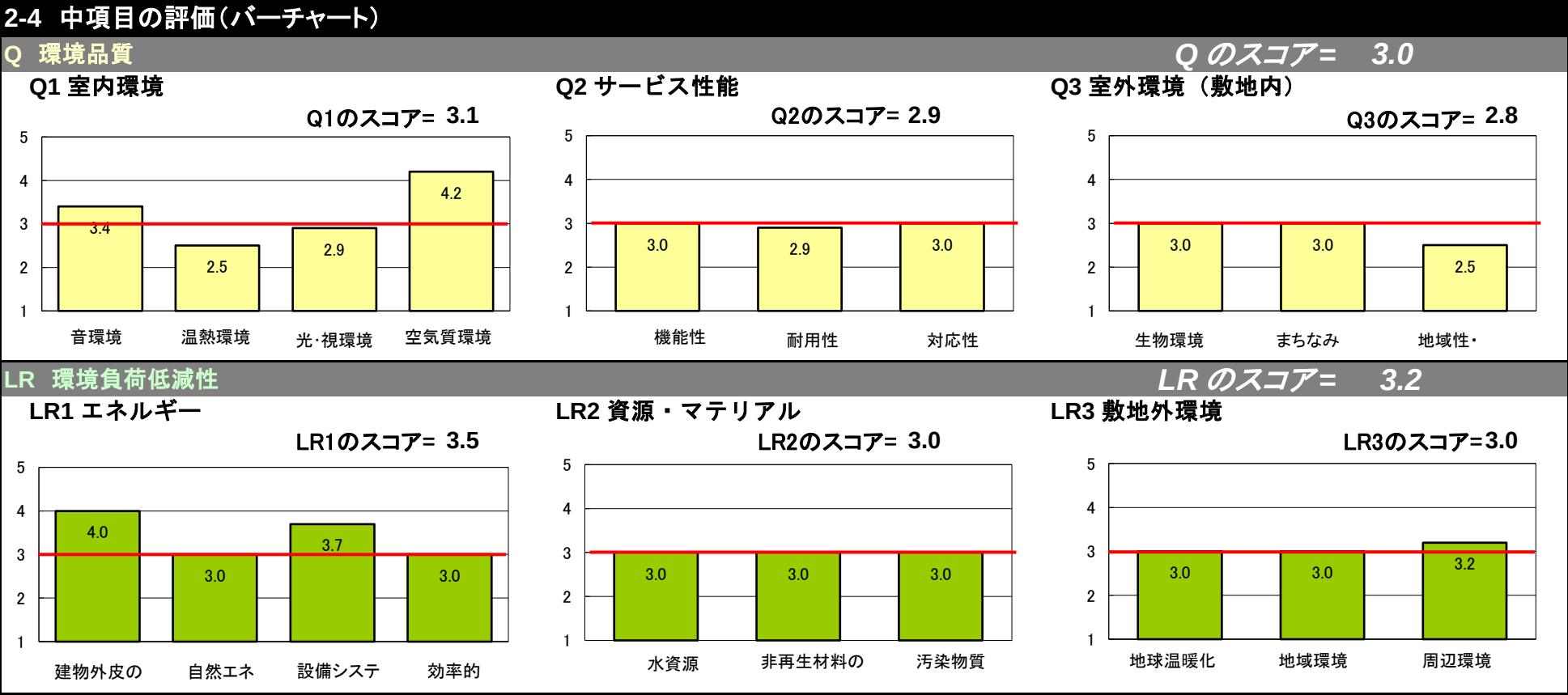
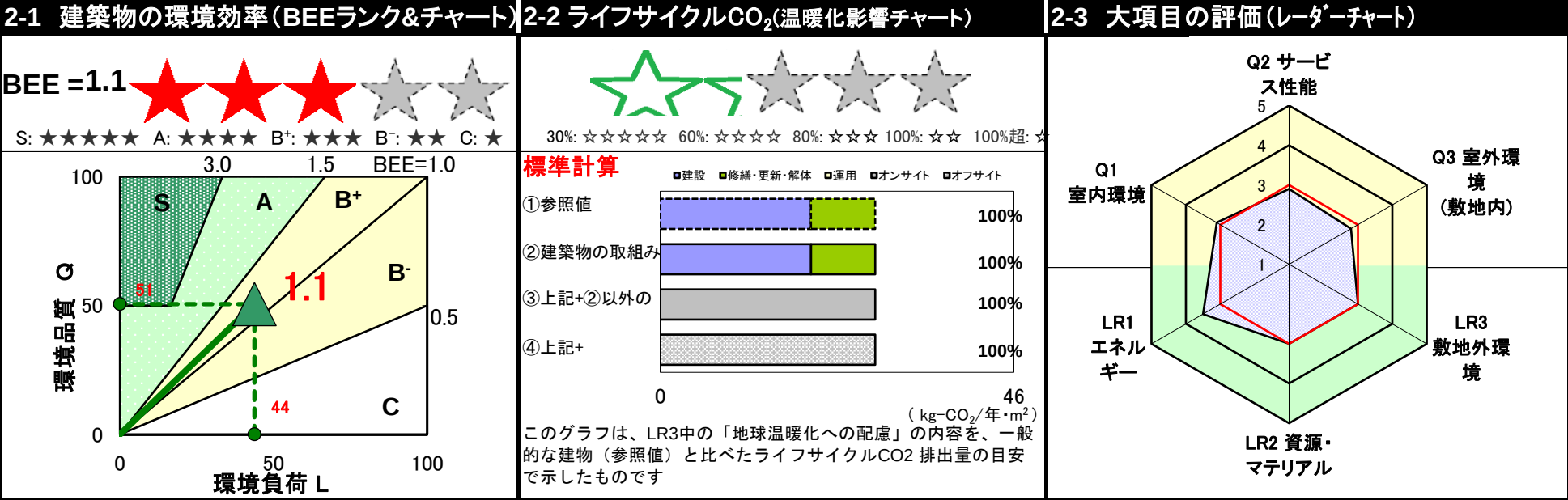
Sheet : 1/5

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーヴィジョン東町 新築工事	階数	地上14階	
建設地	熊本県熊本市東区東町3丁目3番51	構造	RC造	
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	0 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2019年6月25日	
敷地面積	3,625 m ²	作成者		
建築面積	889 m ²	確認日		
延床面積	8,320 m ²	確認者		

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)オーヴィジョン東町 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40		-	3.1
1 音環境				4.0	0.15	3.3	1.00	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				5.0	0.50	3.6	0.50	
1		開口部遮音性能	サッシT-2仕様とする	5.0	1.00	5.0	0.30	
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				2.3	0.35	2.5	1.00	2.5
2.1 室温制御				1.7	0.50	2.1	0.50	
1		室温	UA値＝	1.0	0.63	1.0	0.63	
2		外皮性能		3.0	0.38	4.0	0.38	
3		ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.4	0.25	3.0	1.00	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30	
1		昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2		方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3		昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30	
1		昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63	
1		化学汚染物質	F☆☆☆☆、VOC放散量の少ない建材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
1		換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2		自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1		CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2		喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	2.9
1 機能性				3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1		広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2		高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3		バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1		広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2		リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3		内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数	日本住宅性能評価表示基準の構造躯体劣化対策等級2を取得	3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3		電気設備		1.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.93	3.7	0.50	-	-	3.7
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水			3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		ハロン消火剤を使用しない	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			エコジョーズを採用	3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		延焼機器を採用しない	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	-	
2	振動			3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告塔なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		外壁グレア影響なし	3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

自然・地域環境に配慮した建物を目指す。

Q1 室内環境

音・熱・光・換気等の環境に配慮している。

Q2 サービス性能

設備の更新性に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

可能な限り緑地としている。

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

内装材等、資源のリサイクル。

LR3 敷地外環境

可能な限り緑地としている。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)オーヴィジョン東町 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		77
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				81.5	0.40	32.60
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.7	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				72.5	0.20	14.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				75	0.20	15.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数